

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 1月16日

事業所名 発達支援センターひまわりクラブ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		活動内容に応じて仕切りなどを利用している。	
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		色々な物を置きすぎずごちゃごちゃしないように配慮している。	見ても分かりやすいようにスケジュールを提示しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		細目な清掃を行い清潔で気持ちよく過ごせるように配慮している。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		その都度振り返りを行い個々に応じ支援ができるように努力している。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		保護者に対してアンケートを行っている。	意見については早急に改善できるように努力していきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		アンケートを元に改善できるように努力している。	ひまわり通信に同封したりホームページに載せています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	<input type="radio"/>			
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		人権侵害などの勉強会を定期的に行っている。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		保護者との連携を細目に固りながらお子さんのニーズの把握を行い計画に反映している。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			必要に応じて発達検査や個別訓練を取り入れています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>			内容が難しいと感じられる時には遠慮なくお聞きください。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>		その都度、確認しながら支援を行っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		季節ごとに内容を工夫し身体の機能を使い取り組めるよう立案している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		手先、感触、粗大運動など目的を取り入れながら気見合わせを考え工夫している。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		利用者の発達段階に応じて活動内容を工夫し組み合わせで作成している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		毎日活動内容の確認や送迎担当などの打ち合わせを行っている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		その日の気付きや保護者からの相談等を振り返り情報共有を行っている。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		個人日誌、療育日誌、業務日誌を毎日記入し振り返りができるようにしている。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>				

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>		細目に関係機関と連絡を行い連携を図りながら支援を行っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	<input type="radio"/>			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>		移行支援シートを直接お届けし顔が見える関係で情報共有を行えるようにしている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>		移行支援シートを直接お届けし顔が見える関係で情報共有を行えるようにしている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>		定期的に連絡会を行い連携を図っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>		並行通園のお子さんがほとんどのため特別には設けていない。	今後、検討していきたいと思います。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		保護者の送迎時や帳面を利用して共通理解を図るようにしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	<input type="radio"/>		関わり方についてその都度助言を行い支援を行っている。	心配事や分からないことがありましたら遠慮なくお聞かせください。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>		契約時に説明を行っている。	分からないことがありましたら遠慮なくお聞かせください。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	<input type="radio"/>		計画に至った理由をしながら支援内容を説明し計画の同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>		心配事には随時時間を設けて助言と支援を行っている。	悩みや心配事がありましたら遠慮なくお知らせください。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>		月1回相談員を交えて「親の会」を開催している。	何でも悩みを話せる会になります。お気軽にお越しください。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>		相談があった場合は助言を行うと共にスタッフで情報共有し適切に対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>		月1回「ひまわり通信」を発行し情報を発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	<input type="radio"/>			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>		気持ちに寄り添いながら支援している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>		法人として夏祭りを開催するなどしている。	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	<input type="radio"/>		消防署や警察の指導の下訓練を行っている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>		月1回避難訓練を実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	<input type="radio"/>		アセスメントに記入してもらったり与薬依頼表などを用いて確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="checkbox"/>			指示書が必要なお子さんの利用はありません。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	<input type="checkbox"/>			

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和2年 1月16日

事業所名 発達支援センターひまわりクラブ

保護者等数(児童数)24名 回収数 24枚 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	91.70%	8.30%	0%	0%		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	95.80%	4.20%	0%	0%		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	0%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	0%	0%	0%		
適切な支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	91.60%	4.20%	0%	4.20%	計画に目を通した際、分からない事はその都度聞いている。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	91.70%	8.30%	0%	0%		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	91.70%	8.30%	0%	0%		ご意見がございましたら遠慮なくお知らせください。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	91.70%	0%	0%	8.30%	家ではなかなかできない活動も入っており、とても楽しみにしている。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	79.20%	12.50%	0%	8.30%	異年齢の子と接する機会が多く良い事も悪い事も、子どもの為になっていると感じる。	
保護者への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	95.80%	4.20%	0%	0%		不明な点等ございましたら遠慮なくお知らせください。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	95.80%	4.20%	0%	0%		不明な点等ございましたら遠慮なくお知らせください。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	79.20%	8.30%	4%	8%	親子での参加をする事で、どのように関われば良いのか、勉強になっている。	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	95.80%	4.20%	0.00%	0.00%	送迎時に、その日の様子や困り事など何でも話せる環境である。	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	87.50%	12.50%	0%	0%	予約を入れて、しっかりと話をもつ時間があるので利用している。	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	75%	8.30%	4.20%	12.50%	毎月、親の会での集まりをととても楽しみにしている。息抜きの場になっている。	
16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	91.70%	8.30%	0%	0%			

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	91.70%	8.30%	0%	0%	送迎時などの話や、ひまわり通信を楽しみにしている。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	66.70%	16.60%	4.20%	12.50%	ひまわり通信の写真を楽しみにしています。	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	87.50%	8.30%	0%	4.20%		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	66.70%	12.50%	8.30%	12.50%		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	66.70%	12.50%	0%	20.80%		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	91.60%	4.20%	4.20%	0%	毎回、色々な活動を楽しみにしている。	
	23	事業所の支援に満足しているか	87.50%	8.30%	4.20%	0%	利用するようになって、子どもの変化や成長をととても感じる。	

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 1月16日

事業所名 発達支援センターひまわりクラブ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		活動内容の応じて仕切りなどを利用している。	
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		色々な物を置きすぎないようにしている。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		その都度振り返りを行い個々に応じた支援ができるようにしている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>			保護者に対してアンケートをとって改善に繋がられるように努力しています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			アンケートを集計し、ひまわり通信に掲載しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	<input type="radio"/>			
適切な 支援の 提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>			
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			必要に応じて発達検査や個別訓練を取り入れています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>			季節事の活動内容を考え、立案しています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>			懸想・手先・粗大運動などそれぞれの目的を取り入れながら組み合わせるなど工夫し構成しています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>			季節の行事なども大切に意識しながら課題を決め設定しています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			利用者の発達段階に応じ、活動内容等を工夫しています。集団活動が苦手な子どもにも興味を持ってもらえる活動プログラムを立案し、楽しく取り組めるよう支援しています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>			活動内容について情報交換を、役割分担等を行っています。日案・週案・月案といつでも確認できるようにしています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>			その日の気付き、保護者からの相談等を振り返り、情報共有をしケース会議として議題にもあげ、支援の統一にもつなげています。気付いた点や子どもの様子など伝え合い情報を共有しています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>			個人日誌・業務日誌・療育日誌を毎日記入し振り返りができるようにしています。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>				
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	<input type="radio"/>				

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<input type="radio"/>			送迎連絡票に連絡先を挟んでいます。また下校時刻については一カ月ごとに予定表で確認しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	<input type="radio"/>			移行支援シートを直接お届けし顔が見える関係で情報共有が行えるようにしている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している					
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		<input type="radio"/>			多方面からの利用が多い為、普段から交流の機会となっているため改めては設けていませんが今後、検討していきたいと思えます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>				送迎時、等を利用し毎回情報の共有を行っています。保護者が送迎にくる際、当日の様子や気付いた点を伝える様にしてしています。
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	<input type="radio"/>				
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>				契約時に説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>				月1回「きいて」という時間を設け、話を聞いたり相談に応じる様にしてしています。事業所内相談を随時、受けつけ助言と支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>				月1回「親の会」という時間を設け、相談員を交えて保護者同士で話をする時間を設けています。お気軽にお越しください。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>				苦情があった際は、スタッフみんなで情報を共有し対応するようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>				毎月ひまわり通信の発行があり、写真等でも活動内容を伝えていきます。
	35	個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>			気持ちに寄り添いながら支援を行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>				法人として夏祭りを開催しています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			消防署、警察等の協力の元訓練を実施しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			活動でも避難訓練を取り入れています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和 2年 1月16日

事業所名 発達支援センターひまわりクラブ 保護者等数(児童数) 17名 回収数 17枚 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	88.20%	5.90%	5.90%	0%		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	82.30%	5.90%	0.00%	11.80%		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	82.30%	5.90%	0.00%	11.80%		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	82.30%	11.80%	0.00%	5.90%		ご意見がありましたら遠慮なくお知らせください。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	82.40%	0.00%	0.00%	17.60%	色々な作品を持って帰ってきて毎回楽しみです。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	64.80%	17.60%	0.00%	17.60%	地域のお友達が優しく接してくれます。	
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	88.20%	5.90%	0%	5.90%		不明な点がありましたら遠慮なくお知らせください。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	88.20%	11.80%	0%	0%	迎えに行く度、様子を報告して下さり有り難いです。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	82.40%	17.60%	0%	0%	色々なアドバイスをして下さるので安心してます。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	47.10%	23.50%	0%	29.40%	親の会では、参加できる月は楽しみで色々な方と話ができるので良い機会に7なっています。	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	76.40%	11.80%	0%	11.80%		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	94.10%	5.90%	0%	0%		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	76.40%	11.80%	0%	11.80%	「ひまわり通信」で見ると子どもたちの笑顔で毎月の様子が伝わってきます。	
	14 個人情報に十分注意しているか	94.10%	0%	0%	5.90%		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	58.90%	17.60%	5.90%	17.60%		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	52.90%	5.90%	0%	41.20%		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	94.10%	5.90%	0%	0%	土曜日、長期休業中も朝から楽しみにしています。	
	18 事業所の支援に満足しているか	94.10%	5.90%	0%	0%	満足しています。	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。